

東京学芸大学附属図書館では、ラーニングコモンズを活用した、学生主体の学習活動・イベントを支援するために、「ラーニングコモンズ協働プロジェクト」という取り組みを2017年から2022年まで行った（2017年度秋学期は試行、2018年度より本格実施）。

本報告書は、ラーニングコモンズ協働プロジェクト立ち上げから終了の経緯と概要、具体的な活動履歴をまとめるものである。

【立ち上げから終了までの経緯】

当プロジェクトは、学生団体によるラーニングコモンズを利用した学習活動・イベントの開催を促進することを目的に立ち上げられた。

2017年から2019年にかけては、申請のあった学内の学生団体に対して、イベントの開催支援を行うなど、主体的な学びを促す事業を実施した。具体的な活動としては、イベント開催場所としてのラーニングコモンズの提供、ポスターやチラシの印刷、Webサイトや学芸ポータルでの情報発信等の支援を行った。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2019年度末から2022年度にかけては活動休止状態が続いていた。

学内においては、2018年に設立されたExplaygroundのラボ活動など、教員の指導を受けて学生に活動の場を与える事業も展開されている。このことから、図書館における当プロジェクトは終了する運びとなった（令和5年1月19日の第3回学術情報会議で承認済）。今後はExplaygroundのラボ活動へのラーニングコモンズ提供などを行うほか、その他の学生団体のイベント等での協力依頼があった場合には、個別に相談に応じ対応することで支援を続けていく。

【ラーニングコモンズ協働プロジェクト概要】

ラーニングコモンズ協働プロジェクトでは、ラーニングコモンズにおけるイベントの企画・運営や、ラーニングコモンズを利用した学習に関わる活動に対する支援を実施。

本学の学生または学生団体からの所定の申請書による申請に基づき、館長が承認し、イベントの開催、活動を許可していた。団体の承認は年度ごとに行われていた。

<主な採択条件>

- ラーニングコモンズを活用した学習活動を継続的に行うプロジェクトであること（年度内に最低1回はセミナーやワークショップを実施すること。）
- プロジェクトメンバーは以下の体制条件を満たすこと。
 - ・ プロジェクト申請者（代表者）が本学の学生であること。
 - ・ プロジェクト責任者が本学の教職員であること。
 - ・ 3分の2が本学の学生であること。

<支援内容>

- ラーニングコモンズの利用、予約の簡素化
- ポスターやチラシの印刷
- 附属図書館 Web サイトや学芸ポータルでの情報発信
- 消耗品（筆記用具等）の貸与および購入支援

【プロジェクトの評価】

図書館主体のプロジェクトとして学生による学習活動・イベントの実施を支援することで、ラーニングコモンズの用途を広く学内に周知することができた。また学生団体と繋がりを持ち、図書館でのサービス提供について貴重な意見を得ることができた。イベントの参加者が実施団体に興味を持ったり、次のイベントの主催者になったりなど、学生同士の学習活動を促進し、次の学びに繋ぐ役割も果たすことができ、学生と図書館両者にとって意義のある活動を実施できたと評価できる。

【プロジェクトの記録】

2017年度（試行）

1. 英語学習支援プロジェクト（申請者所属：教育学研究科1年英語教育専攻）

実施日: 2017年11月29日、2018年2月13日



学芸大生の英語の基礎力向上のため、図書館に新しく多読資料を備えた。資料の選定には英語学習支援プロジェクトのメンバーに選定に携わってもらい、資料の提供開始後、多読資料を活用の促進のためのワークショップを開催した。

多読資料の有効な利用方法についてレクチャーしたあと、実際に、自分のレベルにあった資料の選び方、読み方に関するワークを行った。

2. 学校と創造性に関するワークショップ開発プロジェクト（申請者所属：教職大学院1年）

実施日: 2017年11月30日



学級経営に関するワークショップを新教員養成コースの学生と教職大学院の学生を対象に実施した。仮想の学級で起きる事件から、学級で起きている問題を推測する謎解きの要素をいれたケースメソッド型のワークショップとなった。

3. 学芸大生の学習イベント支援プロジェクト（申請者：本学公認サークル codolabo 学生

部門 stella(A類理科2年)

実施日:

「仮想留学体験ワークショップ」2018年2月7日

「教育実習プレ・ポスト」2018年1月19日



学習を促すイベントをつくりたい学生を支援し、いくつかのワークショップを開催した。留学を計画している人や留学に悩んでいる人を支援する「仮想留学体験ワークショップ」、教育実習に行く前と行った後の学生を交流して学習するイベント「教育実習プレ・ポスト」を実施した。

2018 年度

1. 魔法のぐるぐる読書会（申請者所属：教育学部 A 類社会科 4 年）

実施日：2018 年 4 月 26 日



「ぐるぐる読書」の手法を用いて、新学習指導要領のキーワードである「開かれた教育課程」について考えを深め、子どもに読書の魅力を伝える手段・授業を知るためのワークショップを実施した。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20180703>

2. ワークショップ実験部（申請者所属：教職大学院 2 年）

諸般の事情によりイベント未実施。

3. 大学公認サークル codolabo 学生部門 stella（申請者所属：A 類理科 3 年）

実施日：

「将棋人生」2018 年 4 月 16 日

「グラフィックレコーディングワークショップ」2018 年 6 月 27 日

「終始アイスブレイク」2018 年 4 月 25 日、26 日

「走馬灯ワークショップ」2018 年 12 月 26 日



学生がやりたいことを実現する大学というビジョンを掲げ、ワークショップ等の学びの場をつくる活動を行った。

「将棋人生」、「グラフィックレコーディングワークショップ」等のイベントの後援のほか、stella 主催のイベント「終始アイスブレイク」、「走馬灯ワークショップ」を実施した。また図書館との共同事業として、LC に学生の交流を促す「波及ボード」を設置した。外部のイベントでは「未来のマナビフェス 2018」や「学生協働ワークショップ in 東京 2018」に参加し、活動報告を行った。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190326>

4. 英語多読ワークショップ（申請者所属：教育学研究科1年英語教育専攻）

実施日：

「①英語多読ワークショップ」2018年4月20日、25日

「②はじめての英語多読セミナー」「③TOEICリスニング入門セミナー」2018年6月20日、
2018年7月4日、11日



附属図書館内にある英語多読教材の認知を広め、教材を用いた学習を支援して本学学生の英語力向上を目指すプロジェクト。codolabo 学生部門 stella の後援を受け、4月に「①英語多読ワークショップ」、5月から7月に「②はじめての英語多読セミナー」および「③TOEIC リスニング入門セミナー」を実施した。

①<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20180703-0>

②<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20180614>

③<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20180614-0>

5. 英語学習応援 PROJECT"Meetup"（申請者所属：教育学研究科1年英語教育専攻）

実施日：第一弾 2018年11月7日、9日、13日、19日 第二弾 2018年12月18日、19日



「英語多読ワークショップ」の後継として、本学学生の英語学習を促進するプロジェクト。英語を用いた様々な活動を楽しみながら英語学習へのモチベーションを高めるイベント「English Kitchen」を11月から12月にかけて全6回実施した。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190326-0>

6. せんせいのたまご（申請者所属：教職大学院1年）

実施日：2018年12月8日、2019年2月18日



「教員志望の学生」と「教育に関わる人」の架け橋となり「対話する場」を設定することで、「未来の学校教育」を創造することを目的としたプロジェクト。

12月は「このまま先生になっていいのだろうか?」、2月は「性教育」をテーマに、外部の講師を招いてワークショップを実施した。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190326-1>

7. 教員採用試験対策プロジェクト（申請者所属：教育学部 A 類社会科 4 年）



実施日：2018 年 12 月 19 日

教員を目指す学生に向けた企画。前半は本学および他大学の教員採用試験合格者 4 名を講師として、教員採用試験に向けた勉強方法や学生時代の活動で役立ったことをテーマにパネルディスカッションを行い、後半は参加者も含めた全員でディスカッションを行った。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190326-2>

2019 年度

1. 大学公認サークル codolabo 学生部門 stella (申請者所属：B 類美術 3 年)

実施日：2019 年 4 月 24 日、2019 年 5 月 10 日



2018 年度に引き続き、学生がやりたいことを実現する大学というビジョンを掲げ、ワークショップ等の学びの場をつくる活動を行った。

「人生ゲームで人生をふりかえるワークショップ」や「教員志望・教育学部生のための Lx ゼミ」などのイベントを実施したほか、「学生協働ワークショップ in 東京 2019」では企画側として参加し、「図書館の見方が増えるワールドカフェ」と題してグループワークを行った。



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190906>

<https://sites.google.com/view/gakuseikyodo-in-tokyo/>

2. せんせいのたまご (申請者所属：教職大学院 1 年)

実施日：「①不登校」2019 年 5 月 31 日 (金)

「②学校文化」2019 年 6 月 20 日

「③なぜ先生を目指すのか」2019 年 11 月 21 日



2018 年度に引き続き、「教員志望の学生」と「教育に関わる人」の架け橋となり「対話する場」を設定することで、「未来の学校教育」を創造することを目的として活動を行った。5 月は「①不登校」、6 月は「②学校文化」、11 月は「③なぜ先生を目指すのか」をテーマに、外部の講師も招いてワークショップを実施した。

①<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190719>

②<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190906-0>

③<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20191204>

3. English Kitchen (申請者所属：教育学研究科2年英語教育専攻)

実施日：2019年5月31日、2019年6月4日、7日



本学学生の英語学習促進を目的としたプロジェクト。英語を用いた様々な活動を楽しみながら英語学習へのモチベーションを高めるイベント「English Kitchen」を5月から7月にかけて全6回実施した。また、12月には横浜市立大学に出張してイベントを行った。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20190719-0>

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20191002>

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20200123>

4. 留学★学芸まどぐち (申請者所属：A類国語4年)

実施日：

「学芸大留学フェア(アメリカ、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ)」2019年7月3日、10日、17日

「留学ワークショップ『Story in Your 留学』」2019年7月18日、25日

「English Kitchen」2019年7月23日、26日



留学を考えている学芸大生に向けて、留学先を知るためのイベントや留学プランを考える機会を提供するプロジェクト。数種類のイベントを定期的に行う「GAKUGEI GLOBAL FESTA」を実施した。

7月に「学芸大留学フェア(アメリカ、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ)」、「留学ワークショップ『Story in Your 留学』」を実施したほか、「English Kitchen」とも提携してイベントを行った。

<https://sites.google.com/view/gakugeiglobalfesta2019/home>

5. 大学公認サークル codolabo 教育のねっこづくり部門 Roots (申請者所属：A類理科4年)

実施日：2019年7月9日

学生が学科・学年の枠をこえた学びを生み出すことのできるコミュニティを作ること为目的とした団体。7月に「子どもの貧困について考えるワークショップ」を実施した。

【ラーニングcommons協働プロジェクト登録団体一覧】

<2018 年度>

- ・魔法のぐるぐる読書会 in 東京学芸大学
- ・ワークショップ実験部
- ・東京学芸大学公認サークル codolabo 学生部門 stella
- ・英語多読ワークショップ
- ・英語学習応援 PROJECT"Meetup"
- ・せんせいのたまご
- ・教員採用試験対策プロジェクト

<2019 年度>

- ・東京学芸大学公認サークル codolabo 教育のねっこづくり Roots
- ・留学★学芸まどぐち
- ・English Kitchen
- ・せんせいのたまご
- ・東京学芸大学公認サークル codolabo 学生部門 stella